

京都造形芸術大学に入学された、芸術学部 844 名、芸術研究科 84 名、総計 928 名の皆さん、入学まことにおめでとうございます。ご来賓の方々、列席の瓜生山学園の役員、副学長、学部長、研究科長、その他のすべての教職員とともに、皆さんの入学を、心からお祝い申し上げます。新入生の皆さんは、日本の各地から、韓国から、あるいは中国の大陸や台湾の各地から、またアメリカ、インドネシア、キプロス、ロシアから、この京都、瓜生山にある京都造形芸術大学を学習の場を選び、見事に合格しました。

この日まで、皆さんはそれぞれに、ほぼ 18 年以上の人生を経験して来られました。ここまでたどってきた道を今、それぞれに振り返っておられるかもしれません。あるいは、これから進んでいく未来への道に、思いを馳せている方もおられることでしょう。

ご家族の方々も、それぞれのご家庭で、立派に成長し、今日晴れて大学生となった方の学習を、今まで支えて来られたことを、あらためて思い起こしておられると思います。新入生の父母の方々には、独立して自分の道を歩き始める我が子を、これからは一定の距離を置いて、静かに見守ってあげていただくよう、お願いします。

入学式のこの季節は、日本では、さまざまの植物の芽吹き季節です。この学園のある瓜生山の赤松は常緑の樹木で、若さと長寿のシンボルです。松は能舞台に描かれ、あるいは白砂青松と言われるように、日本列島の原風景の中心です。また、私の背後に立つ樟も同じように、いつも古い葉を落としながら若葉を育てて緑を保ちます。この京都造形芸術大学にも、新年度には新任の教職員を迎えて、芸術の新しい領域が芽を出し、卒業生が巣立つとともに、新入生が入ってきます。新しい樹木の芽は、皆さんとともに急速に成長します。今年京都造形芸術大学に入学された皆さんは、樹木の成長と自分の成長とを重ねながら、やがて卒業式を立派に迎えて下さるようお願いいたします。

皆さんが新しく学生として参加した、この京都造形芸術大学は、先ほど松平定知教授によって、力強く読み上げられた「京都文藝復興」を基本理念としています。この理念は、目前に新しい世紀を迎えようとするとき、本学の創設者である徳山詳直理事長が高らかに描きあげたものです。そこにあるごとく、芸術文化探求へのとどまることのない研鑽が、人類の未来を希望あるものへ導くと私も信じて、この場所に今立っています。芸術立国という本学建学の精神をしっかりと受け継ぎながら、この最高学府の伝統を活かし、さらに発展させるよう、新入生の皆さんと、私も力を合わせて仕事をしていきたいと思っています。

入学して生活が少し落ち着いてから、皆さんはこの京都造形芸術大学のある京都が、世界遺産の町であると再認識して、学習のあい間に古都をよく見てほしいと思います。世界からたくさんの人びとが京都を訪れます。京都盆地は第四紀後期の活断層運動で形成された盆地で、発達した分厚い堆積層の中に、豊富な地下水を含んでおり、世界的にも稀なこの良質の地下水が、京都の豊かな文化を生み出しました。国立近代美術館、奈良や京都の国立博物館、大小の多くの美術館や博物館を、あるいは多くの文化財をおとずれ、学生の特権を利用して大いに学習に活かしてほしいと思います。

学生の皆さんが力一杯学習し、すばらしい芸術を産み出すためには、安全なキャンパスに、十分な活動の場を整えることが重要であり、また、作品を生み出すための技術を身につける教育が必要であり、作品のための素材が重要です。本学はそれらを整えて、皆さんを迎えました。それらを上手く活用して、いい作品を生み出してください。成果をあげるかどうかは、皆さんの熱意にかかっています。芸術はその皆さんの熱意を持って挑戦するプロセスにこそ存在するものです。そのプロセスの中で、皆さん自身が、これぞ芸術だというものを見つけてほしいと思います。

私は、皆さんが芸術に挑戦する中で、芸術とは何か、人とは何かを考え、そして私たちが生まれ出た地球のことを考えてほしいと思っています。今「春の顔見世」展覧会の私のコーナーに展示してある1枚の絵は、チンパンジーのアイが、私のために特別に描いてくれた絵です。それを見て、絵を描くとはどういうことか、人とは何か、ということ皆さんにも考えてほしいという思いを込めて展示してあります。霊長類研究は、ヒト科4属のうちヒト以外を研究対象とする若い学問分野で、松沢哲朗さんもジェーン・グドールさんでさえ、一人のチンパンジーの生涯をまだ観察したことがありません。その中で、この1枚の絵は、私たちに、芸術とは何かという問いかけをしています。

地球のことを考えるとき、自然環境を大きく破壊する人類の行いの中に、戦争という行為があるのを忘れてはなりません。平和を大切にしなければなりません。戦争は人の社会を含めて、地球社会を大規模に破壊する行為です。自然環境にも大きな影響を長期にわたって残します。芸術が人類の未来に平和をもたらすことができると信じて、私たちは芸術活動を続けます。この学園において、皆さんにもそれを理解してほしいと願っています。

大学はさまざまな仕組みで、皆さんの学園生活を支援します。多くの活動グループが、皆さんの参加を待っています。スポーツに、文化活動に、あるいはボランティア活動に積極的に参加して、友人を作り、先輩に学び、知識と経験を蓄積しつつ、友情を育ててほしいと思います。まちがいなく、それは、皆さんの生涯を支える大きな財産になります。皆さんは、無限の可能性を持っています。皆さんの活躍を私も楽しみにしています。こころと身体を大切に、朝食をしっかりとして、脳と体を目一杯に働かせて、学園生活を思い切り楽しんでくださることを期待して、私のお祝いのことばを結びます。

京都造形芸術大学への入学、まことにおめでとうございます。